

POPs条約対象候補物質の製造・輸入等の状況について  
(試験研究用以外のもの)

令和 年 月 日

会社名 \_\_\_\_\_

POPs条約対象候補物質の取扱いにつきまして、以下の通り回答します。

取扱い物質名	
--------	--

(複数ある場合は、それぞれについて調査票にご記入ください)

1. 当該物質を製造又は輸入しています(又は過去3年間に製造又は輸入していました)。  
→ 「A. 製造・輸入」と「E. 出荷先」の調査票にご記入ください。
2. 当該物質を含有する調剤品(混合物)を生産しています(又は過去3年間に生産していました)。  
→ 「B. 調剤品生産」と「E. 出荷先」の調査票にご記入ください。  
※調剤品とは、当該物質と可塑剤、難燃剤、色剤、樹脂などの物質を混合した物で、複数の物質からなる混合物(粉、ペレット等)又は溶液を指します。
3. 当該物質を化学反応させて別の化学物質製品を生産しています(又は過去3年間に生産していました)。  
→ 「C. 化学反応により製造する他物質製品の生産」と「E. 出荷先」の調査票にご記入ください。  
※化学反応により製造する他物質製品とは、中間物や加工助剤として当該物質を用い、化学反応を起して製造される樹脂や他の化学物質製品を指します。
4. 当該物質を含有する成形品を生産しています(又は過去3年間に生産していました)。  
→ 「D. 成形品生産」と「E. 出荷先」の調査票にご記入ください。  
※成形品とは、当該物質又はこれを含む製品を塗布、染色、練り込んで成形した製品を指します。

担当者所属 \_\_\_\_\_

担当者氏名 \_\_\_\_\_

〒  
住所 \_\_\_\_\_

TEL \_\_\_\_\_

FAX \_\_\_\_\_

e-mail \_\_\_\_\_

A. 製造又は輸入の状況

A-1. 過去3年間及び今年度12月時点までの製造実績

製造者名: 0

年度	製品名	物質名	CAS番号	純度又は含有率		製造量(kg)	輸出量(kg)	自社内使用量(kg)	国内出荷量(kg)	国内出荷の用途別割合				自社内在庫量(kg)	代替品・代替技術の有無	代替完了見込時期(代替品・代替技術がある場合)	代替不可理由(代替品・代替技術がない場合)	備考
				(%)	(ppm)					用途①	割合(%)	用途②	割合(%)					
令和元年度																		
令和2年度	0	0	0	0	0													
令和3年度	0	0	0	0	0													
令和4年度(12月時点まで)	0	0	0	0	0													

年度	製品名	物質名	CAS番号	純度又は含有率		製造量(kg)	輸出量(kg)	自社内使用量(kg)	国内出荷量(kg)	国内出荷の用途別割合				自社内在庫量(kg)	代替品・代替技術の有無	代替完了見込時期(代替品・代替技術がある場合)	代替不可理由(代替品・代替技術がない場合)	備考
				(%)	(ppm)					用途①	割合(%)	用途②	割合(%)					
令和元年度																		
令和2年度	0	0	0	0	0													
令和3年度	0	0	0	0	0													
令和4年度(12月時点まで)	0	0	0	0	0													

記入注意

- 1) 純度(含有量)、CAS番号の異なる当該物質が3つ以上ある場合は、適宜行を挿入してご記入ください。
- 2) 数量は100%換算値で記入し、純度等を備考に記入してください。
- 3) 純度は単位(%、ppm)のどちらかに記入してください。
- 4) 製造量には、自社内で使用するか否かに関わらず、ある化学物質に化学反応を起こさせて製造した全数量を記入してください。
- 5) 在庫量としては、当該年度に製造を行ったものに限らず、令和4年3月末における在庫の総量を記入してください。
- 6) 用途が3つ以上ある場合は、適宜列を挿入してご記入ください。
- 7) 用途はプルダウンメニューから選択してください。プルダウンメニュー幅が小さい場合は、セル「AA1」を選択した状態でファイルを保存いただくとプルダウンメニューの幅が広がります。
- 8) 用途分類表は経済産業省ホームページでご覧になれます。

[https://www.meti.go.jp/policy/chemical\\_management/kasinhou/files/ippantou/yusenvoto\\_2019fy.pdf](https://www.meti.go.jp/policy/chemical_management/kasinhou/files/ippantou/yusenvoto_2019fy.pdf)

A-2. 過去3年間及び今年度12月時点までの輸入実績

輸入者名: 0

年度	輸入製品名	物質名	CAS番号	純度又は含有率		輸入量(kg)	輸入国	輸出量(kg)	国内出荷量(kg)	国内出荷の用途別割合				自社内在庫量(kg)	代替品・代替技術の有無	代替完了見込時期(代替品・代替技術がある場合)	代替不可理由(代替品・代替技術がない場合)	備考
				(%)	(ppm)					用途①	割合(%)	用途②	割合(%)					
令和元年度																		
令和2年度	0	0	0	0	0													
令和3年度	0	0	0	0	0													
令和4年度(12月時点まで)	0	0	0	0	0													

年度	輸入製品名	物質名	CAS番号	純度又は含有率		輸入量(kg)	輸入国	輸出量(kg)	国内出荷量(kg)	国内出荷の用途別割合				自社内在庫量(kg)	代替品・代替技術の有無	代替完了見込時期(代替品・代替技術がある場合)	代替不可理由(代替品・代替技術がない場合)	備考
				(%)	(ppm)					用途①	割合(%)	用途②	割合(%)					
令和元年度																		
令和2年度	0	0	0	0	0													
令和3年度	0	0	0	0	0													
令和4年度(12月時点まで)	0	0	0	0	0													

記入注意

- 1) 純度(含有量)、CAS番号の異なる当該物質が3つ以上ある場合は、適宜行を挿入してご記入ください。
- 2) 輸入量、輸出量、国内出荷量及び在庫量は、100%換算値で記入してください。
- 3) 在庫量としては、当該年度に輸入を行ったものに限らず、令和4年3月末における在庫の総量を記入してください。
- 4) 輸入元情報(企業名)について、備考に記入してください。
- 5) 用途が3つ以上ある場合は、適宜列を挿入してご記入ください。
- 6) 用途はプルダウンメニューから選択してください。プルダウンメニュー幅が小さい場合は、セル「AA1」を選択した状態でファイルを保存いただくとプルダウンメニューの幅が広がります。
- 7) 用途分類表は経済産業省ホームページでご覧になれます。

[https://www.meti.go.jp/policy/chemical\\_management/kasinhou/files/ippantou/yusenvoto\\_2019fy.pdf](https://www.meti.go.jp/policy/chemical_management/kasinhou/files/ippantou/yusenvoto_2019fy.pdf)

B. 調剤品生産の状況

B-1. 過去3年間及び今年度12月時点までの含有調剤品の生産実績

調剤品生産者名:

0

項目	例	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
製品名	DP-mix					
含有物質名	デクロランプラス					
含有率	*%、ppmのどちらかにご記入ください。					
(%)	40%					
(ppm)						
用途	プラスチック添加剤					
原料製品名	〇〇					
メーカー名	〇〇会社					
使用方法	製品への含有					
使用の詳細な内容	難燃助剤〇〇との混合					
使用量(kg) *数量は製品ベースで記載してください。						
令和元年度	20					
令和2年度	12					
令和3年度	16					
令和4年度(12月時点まで)	4					
調剤品生産量(kg) *数量は製品ベースで記載してください。						
令和元年度	50					
令和2年度	30					
令和3年度	40					
令和4年度(12月時点まで)	10					
国内出荷量(kg) *数量は製品ベースで記載してください。						
令和元年度	50					
令和2年度	20					
令和3年度	40					
令和4年度(12月時点まで)	10					
輸出量(kg) *数量は製品ベースで記載してください。						
令和元年度	0					
令和2年度	10					
令和3年度	0					
令和4年度(12月時点まで)	0					
出荷国	〇〇国					
輸出先企業名	〇〇会社					
自社内在庫量(kg) *令和5年3月末時点	5					
処分予定の有無	有					
処分予定日	令和5年3月31日					
代替品・代替技術の有無	有					
代替完了見込時期 (代替品・代替技術がある場合)	令和5年3月31日					
代替不可理由 (代替品・代替技術がない場合)						

C. 化学反応により製造する他物質製品生産の状況

C-1. 過去3年間及び今年度12月時点までの含有製品の生産実績

化学反応により製造する他物質製品生産者名: 0

項目	例	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
製品名	DP-derivant					
含有物質名	デクロランプラス					
含有率	*%、ppmのどちらかにご記入ください。					
(%)	1%					
(ppm)						
用途	プラスチック添加剤					
原料製品名	〇〇					
メーカー名	〇〇会社					
使用方法	反応させて別の物質にする					
使用の詳細な内容	難燃剤の合成					
使用量(kg)	*数量は製品ベースで記載してください。					
令和元年度	45					
令和2年度	27					
令和3年度	36					
令和4年度(12月時点まで)	9					
製品生産量(kg)	*数量は製品ベースで記載してください。					
令和元年度	50					
令和2年度	30					
令和3年度	40					
令和4年度(12月時点まで)	10					
国内出荷量(kg)	*数量は製品ベースで記載してください。					
令和元年度	50					
令和2年度	20					
令和3年度	40					
令和4年度(12月時点まで)	10					
輸出量(kg)	*数量は製品ベースで記載してください。					
令和元年度	0					
令和2年度	10					
令和3年度	0					
令和4年度(12月時点まで)	0					
出荷国	〇〇国					
輸出先企業名	〇〇会社					
自社内在庫量(kg)	*令和5年3月末時点	5				
処分予定の有無	有					
処分予定日	令和5年3月31日					
代替品・代替技術の有無	有					
代替完了見込時期 (代替品・代替技術がある場合)	令和5年3月31日					
代替不可理由 (代替品・代替技術がない場合)						

D. 成形品生産の状況

D-1. 過去3年間及び今年度12月時点までの成形品の生産実績

成形品生産者名:   0

項目	例	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
製品名	ケーブルA					
含有物質名	デクロランプラス					
含有率	*%、ppmのどちらかにご記入ください。					
(%)	8%					
(ppm)						
用途	電気配線					
原料製品名	〇〇					
メーカー名	〇〇会社					
使用方法	製品への含有					
使用の詳細な内容	電線被覆材(塩化ビニル)への配合					
使用量(kg)	*数量は製品ベースで記載してください。					
令和元年度	4					
令和2年度	1.2					
令和3年度	1.6					
令和4年度(12月時点まで)	0.8					
成形品生産量(kg)	*数量は製品ベースで記載してください。					
令和元年度	50					
令和2年度	30					
令和3年度	40					
令和4年度(12月時点まで)	10					
国内出荷量(kg)	*数量は製品ベースで記載してください。					
令和元年度	50					
令和2年度	20					
令和3年度	40					
令和4年度(12月時点まで)	10					
輸出量(kg)	*数量は製品ベースで記載してください。					
令和元年度	0					
令和2年度	10					
令和3年度	0					
令和4年度(12月時点まで)	0					
出荷国	〇〇国					
輸出先企業名	〇〇会社					
自社内在庫量(kg)	*令和5年3月末時点	5				
処分予定の有無	無					
処分予定日						
代替品・代替技術の有無	無					
代替完了見込時期 (代替品・代替技術がある場合)						
代替不可理由 (代替品・代替技術がない場合)	ケーブル難燃規格に適合させる必要があるが、同等の効果を発揮できる代替物質が存在しない。					

E. 出荷先の情報

(製品ごとに出荷先ごとに記載してください。)

事業者名:

0

E-1. 製品の概要

	例	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
製品名	ケーブルA					
出荷先企業名	株式会社METI					
出荷量(kg)*数量は製品ベースで記載してください。						
令和元年度	5					
令和2年度	3					
令和3年度	4					
令和4年度(12月時点まで)	3					
当該製品用途						
出荷先の事業内容 *当該製品を使用した最終製品がわかるように記載してください。	電線製造					
製品の詳細用途	電線被覆材(塩化ビニル)への配合					

E-2. 出荷先の連絡先

本社						
代表者役職	取締役社長					
代表者氏名	経済 花子					
郵便番号	100-8901					
住所	千代田区霞が関1-3-1					
連絡担当者						
部署	化学物質管理課					
役職	管理部長					
氏名	経済 太郎					
郵便番号	同上					
住所	同上					
電話番号	03-3501-0605					
FAX番号	03-3501-2084					
メールアドレス	gqhbfa@meti.go.jp					

